

# 日没處の日本美術図書館

## Japanese Art Libraries in the United Kingdom

平野 明\*

### 1 セインズベリー日本藝術研究所

セインズベリー日本藝術研究所は、英国ノリッジ市に所在する非営利学術研究機関である。

ノリッジ市は、英国東部イーストアングリア地方にあるノーフォーク県の県庁所在地で、ロンドンから北東に電車で約 2 時間ほどの半島の先に位置する。ノリッジはヨーロッパ大陸に近いという位置関係から、産業革命が興るまで羊毛をヨーロッパに輸出するための集積地として、ロンドンに次ぐ英国第 2 の都市として栄えていた。しかし、産業革命後、英国の主要産業が鉄鋼業に移行するとともに、忘れ去られた存在となり、そのために、中世の面影を色濃く今に留めている。

セインズベリーというと、多くの人がスーパーマーケットを思い浮かべるであろう。セインズベリーズというスーパーマーケットは、テスコに次いで英国第 2 の規模の英国全土に展開するチェーン店である。このスーパーマーケット・チェーンの先代のオーナーであるロバート・セインズベリー卿およびリサ夫人が結婚 10 周年を記念して購入したモディリアーニの絵を 1999 年にクリスティーズのオークションで売却し、その収益を日本美術の研究機関設立のための基金として、セインズベリー日本藝術研究所が設立された。

セインズベリー日本藝術研究所の活動は大きく 3 つに分けることができる。一つ目は、フェロシップ制度によって、北米または日本で活動する若手の日本美術史研究者を英国に招聘し、研究の奨励をすること。二つ目は、展覧会・講演会・シンポジウム・ワークショップ・出版などを通して、研究成果を発表・発信する場を設けること。三つ目が、図書館を開設することにより、研究者が必要とする資料・情報の提供を行うと共に、一般市民にも開放し、日本美術の普及に寄与することで

ある。

リサ・セインズベリー図書館は、2003 年 5 月にセインズベリー日本藝術研究所の付属図書館として開館した。蔵書数は約 40,000 冊で、日本美術史、日本考古学、日本視覚文化に関する資料を中心に収集している。利用対象は、研究所の研究職員、フェローを主眼としているが、外部の研究者や学生、一般市民にも公開している。ただし、外部利用者には資料の貸出は直接おこなわず、図書館間貸出に限っている。

リサ・セインズベリー図書館では、一般の資料のほかに貴重資料として横浜絵を中心とする錦絵を 40 点ほど、16 世紀から 19 世紀に主にヨーロッパで作成された日本地図を 60 点ほど所蔵している。

### 2 日没處の日本美術図書館

英国の日本美術研究図書館について、主要な 4 機関を例にあげて、英国における現状を紹介したい。

ヴィクトリア&アルバート・ミュージアム (V&A) には国立美術図書館<sup>1</sup>が併設されている。V&A は、英国内で最大規模の日本美術コレクションを収蔵する博物館のひとつで、1986 年には東芝国際交流財団の資金援助により東芝ギャラリーが開設された。

日本セクションを有する V&A の極東部では、独自に図書資料を収集しているが、国立美術図書館においてもおよそ 2,000 タイトルの日本語の資料が日本語コレクションとして所蔵されており、V&A の研究員や外部利用者への情報提供を行っている。(英語等のヨーロッパ言語で書かれた日本美術に関する資料や、本文が日本語でも英

\* ひらの あきら (セインズベリー日本藝術研究所リサ・セインズベリー図書館司書, Hirano Akira, Librarian, The Lisa Sainsbury Library, Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures)

1 国立美術図書館(National Art Library) は V&A Library と呼ばれることもあるが、National Art Library が正式名称である。

語の要約が記載されている資料は、日本語コレクションではなく一般コレクションとして扱われている。)

1980年代初頭までは、日本語の堪能な英国人が日本語資料の目録作業に携わっていたが、その人の退職後に採用された英国人<sup>2</sup>は、日本語がほとんどできず1987年に首を切られ、それ以降、そのポジションはなくなってしまった。そのため、V&AはBritish Libraryに協力を要請し、British Libraryの日本語資料担当者が、国立美術図書館に出かけて行って、目録作業を行っていた。初期の頃はバックログが多かったため、月に一度程度の割合で、後には年に2-3回程度の頻度で行われた。この協力体制は2012年ごろまで続いたが、現在では、(日本語のできない)中国人が、ISBNや併記された英文タイトルなどを頼りにOCLCから書誌情報をダウンロードして目録作業をしている。

大英博物館では、2002年に日本部部長(Keeper) Dr Victor Harrisの定年退職にともない、日本部がアジア部に吸収され、アジア部日本セクションとなった。

2006年までは、日本部(日本セクション)専任の図書館員(Mavis Pilbeam)が在籍していたが、図書館員が退職した後は、欠員補充がないまま現在にいたる。新しく入った資料の整理や資料購入の手続きは、大英博物館とセインズベリー日本藝術研究所の共同研究協定の一環として、セインズベリー研究所の平野が月に1度程度の割合で大英博物館を訪れて、必要な作業を行っている。

以前は、日本部とアジア部が別々に存在していたので、現在でも日本セクションはアジア部とは別の場所にあり、図書資料もそれぞれの部署に配置されている。日本セクションには、約7,000タイトル程度の日本美術に関連する資料(日本語に限らない)が所蔵されて、同博物館の学芸員や日本美術研究者へ資料提供をしている。しかし、数年後に日本セクションはアジア部のある事務室に移動になる予定で、それに伴い、図書資料もア

ジア部の図書資料と同じ場所に移ることになる。日本セクションとアジア部とでは、図書の分類体系がまったく異なるので<sup>3</sup>、日本セクションの図書がアジア部に移動してすぐにアジア部の図書の中に混配されることはないが、将来的にずっと日本セクションとしての独自性を保っていける見込みは少ないと思われる。

ロンドン大学は、第二次大戦中に日本語のスパイ養成学校として機能していたことはつとに知られているが<sup>4</sup>、SOASは、現在英国で唯一の日本美術史学科がある大学である。

SOAS図書館の日本美術資料は、1957年にロンドン大学コートールド美術研究所から東洋美術関係の資料を移管されることによって、コレクションの基礎が築かれた。現在、SOAS図書館の美術部門では、アジア、アフリカの美術、建築、考古学に関する資料を収集している。その内、日本語で書かれた日本美術に関する資料はおおよそ9,000タイトルほど所蔵している。

2010年までは日本人の図書館員(安村佳子氏)が美術コレクションの担当(Faculty Librarian)をしていたが、現在は、日本語が堪能な韓国人(Mrs Jiyeon Wood)が担当している。

リサ・セインズベリー図書館は、欧州における唯一の日本美術に特化した図書館として、2003年の開館以来、英国内にとどまらず欧州の日本美術史研究者の利用に供している。しかし、パトロンであるセインズベリー家の代替わりにより、先代が生み出したすべての組織・団体への資金提供を2019年に打ち切るという方針が示された。それと共に、2019年以降にセインズベリー研究所は、イーストアングリア大学(UEA)のキャンパス内に移転するようセインズベリー一家から指令があった。UEAキャンパス内には大学図書館のほかに、環太平洋地域の美術資料を収集するロバート・セインズベリー図書館が存在するため、研究所がUEAに移転した後、リサ・セインズベリー図書館が存在し続けることができるかどうか

2 英国の国立機関で職員を採用する場合の規定があり、この当時、採用される優先順位としてまず英国籍、次にEUメンバー国の国籍、その次が英国連邦(英国の旧植民地)の国籍、最後に日本を含むその他の国の国籍をもつ者という順で、選考がなされていた。そのため、日本人が応募しても採用される可能性は極めて低かった。

3 日本セクションは独自分類、アジア部はLCC(Library of Congress Classification)を採用している。

4 SOAS(School of Oriental and African Studies)は、第二次大戦時はまだSOS(School of Oriental Studies)という名称だった。

かは、いまのところ未確定である。

このように英国においては、日本美術研究図書館やその資料を扱う専門的知識をもった担当者の数が縮小するという傾向が顕著である。

この現象にさらに拍車をかけていると思われるのが、日本政府による海外の日本研究図書館への支援体制である。国際交流基金からの在外日本研究図書館に対する図書寄贈プログラムは、2007年度に終了した。これに対して、Korea Foundationは海外のKorea研究図書館に対して、資料購入費の援助ばかりではなく、電子資料へのサポート、担当司書に対する研修、人材の派遣と

いった手厚い支援を差し伸べていることを参考までに申し添えておく必要がある。

こういう現状を日本の皆さんに報告すると共に、問題意識として共有しておきたい。

### 3 最後に

今年開始されたばかりのこの JAL プログラムに参加させてくださったことに、謝意を申し上げます。それと共に、このプログラムの企画・運営に携わって下さった多くの皆様方に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

# 日没處の日本美術図書館

## Japanese Art Libraries in the United Kingdom

JALプロジェクト  
- 2014 -



2014年12月11日  
平野 明

1

# 1 セインズベリー日本藝術研究所

- 概要
- 研究所活動内容
- リサ・セインズベリー図書館



2

# 1 セインズベリー日本藝術研究所

## 概要

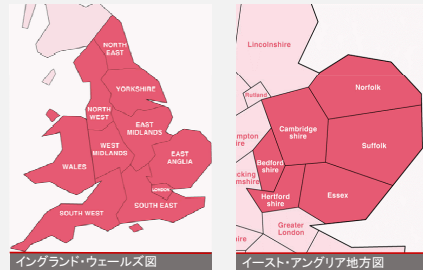


イングランド・ウェールズ図

3

# 1 セインズベリー日本藝術研究所

## 概要



イングランド・ウェールズ図

イースト・アングリア地方図

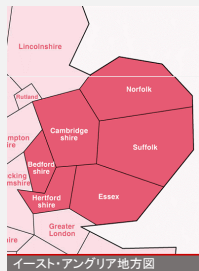
4

# 1 セインズベリー日本藝術研究所

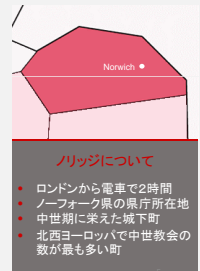
## 概要



イングランド・ウェールズ図



イースト・アングリア地方図



### ノリッジについて

- ロンドンから電車で2時間
- ノーフォーク県の県庁所在地
- 中世期に栄えた城下町
- 北西ヨーロッパで中世教会の数が最も多い町

# 1 セインズベリー日本藝術研究所

## 概要



セインズベリー・スーパーマーケット

6

# 1 セインズベリー日本藝術研究所 概要



ロバート・セインズベリー卿とリサ夫人

7

# 1 セインズベリー日本藝術研究所 概要



ロバート・セインズベリー卿とリサ夫人



バラノフスキー侯の自像

8

# 1 セインズベリー日本藝術研究所 概要



セインズベリー日本藝術研究所

9

# 1 セインズベリー日本藝術研究所 研究所活動内容



- フェローシップ制度  
北米と日本から日本美術、日本考古学の若手研究者を招く
- 研究成果の発信  
シンポジウム、ワークショップ、講演会、展覧会、出版など
- 図書館による情報提供  
研究活動に必要な情報を提供、一般市民への情報提供

10

# 1 セインズベリー日本藝術研究所 リサ・セインズベリー図書館



リサ・セインズベリー図書館 閲覧室

- 開館：2003年5月12日
- 蔵書数：約40,000冊
- 主な収集分野：
  - 日本美術
  - 日本考古学
  - 日本視覚文化
- 利用対象：
  - 研究所研究職員
  - 研究所フェロー
  - 外部の研究者、学生
  - 一般
- 館内閲覧のみ

11

# 1 セインズベリー日本藝術研究所 リサ・セインズベリー図書館



- 1 古地図
- 2 マニユスクリプト
- 3 和古書
- 4 個人コレクション
- 5 洋古書
- 6 錦絵(横浜絵)

## 2 日没處の日本美術図書館

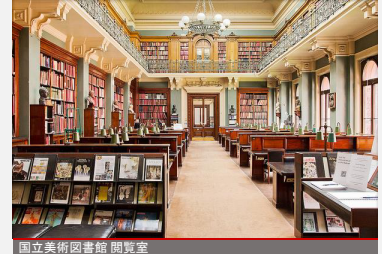
- 国立美術図書館
- 大英博物館
- ロンドン大学SOAS図書館
- セインズベリー日本藝術研究所

**LISA SAINSBURY LIBRARY**  
 セインズベリー日本美術研究所・セインズベリー図書館  
 Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures

13

## 2 日没處の日本美術図書館 国立美術図書館 (ヴィクトリア&アルバート・ミュージアム)

- 日本語資料の規模  
約3,000タイトル
- 日本美術担当司書  
1982-3年に退職  
1987年にポジション閉鎖



国立美術図書館 閲覧室

14

## 2 日没處の日本美術図書館 大英博物館

**LISA SAINSBURY LIBRARY**  
 セインズベリー日本美術研究所・セインズベリー図書館  
 Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures

- 日本部  
2002年部長退職  
日本部から  
日本セクションへ
- 日本語資料の規模  
約7,000タイトル
- 日本部図書館司書  
2006年に退職  
欠員補充なし



大英博物館

15

## 2 日没處の日本美術図書館 ロンドン大学SOAS図書館

**LISA SAINSBURY LIBRARY**  
 セインズベリー日本美術研究所・セインズベリー図書館  
 Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures

- 日本語資料の規模  
約9,000タイトル
- 美術担当日本人司書  
2010年に退職  
現在は韓国人司書



SOAS図書館 閲覧室

## 2 日没處の日本美術図書館 セインズベリー日本藝術研究所

**LISA SAINSBURY LIBRARY**  
 セインズベリー日本美術研究所・セインズベリー図書館  
 Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures

- 研究所  
2019年にイースト・アン  
グリア大学に移転予定
- 図書館  
研究所の移転に伴い、将  
来図書館が存続するか否  
かは不明



セインズベリー日本藝術研究所

17

## 2 日没處の日本美術図書館 日出處からの支援

**LISA SAINSBURY LIBRARY**  
 セインズベリー日本美術研究所・セインズベリー図書館  
 Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures

- 国際交流基金は  
図書館への支援を打ち切り

18

## 2 日没處の日本美術図書館 日出處からの支援



- 国際交流基金は  
図書館への支援を打ち切り
- ちなみにKorea Foundationは
  - 資料購入費の援助
  - 電子資料へのサポート
  - 韓国語担当司書への研修
  - 海外の図書館へ人材の派遣

19

## 3 最後に...



20